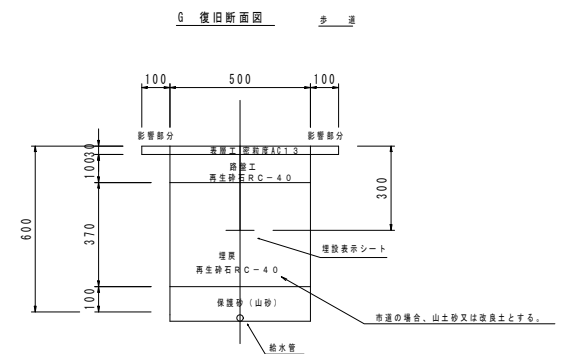
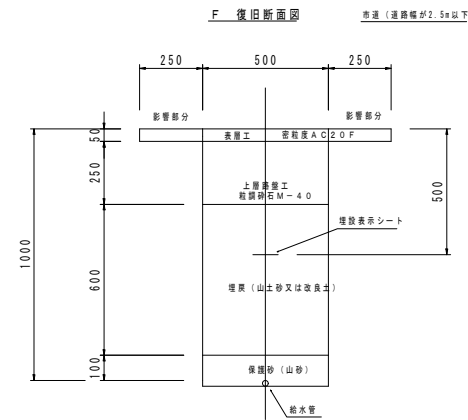
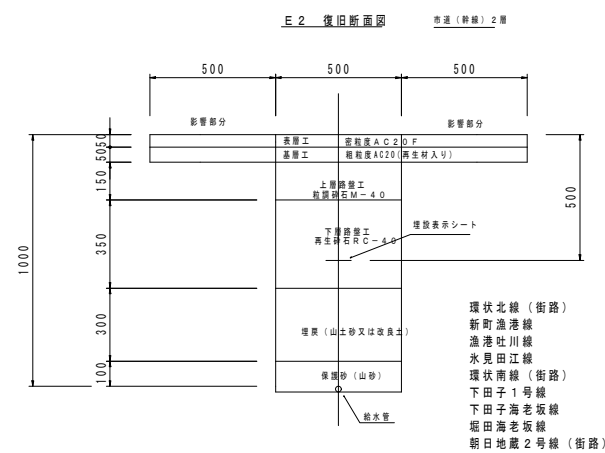
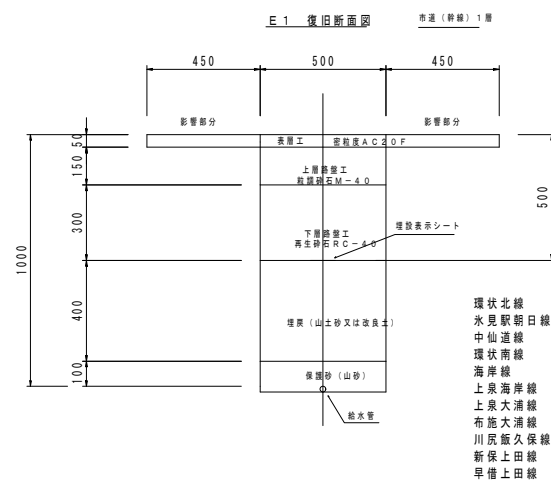
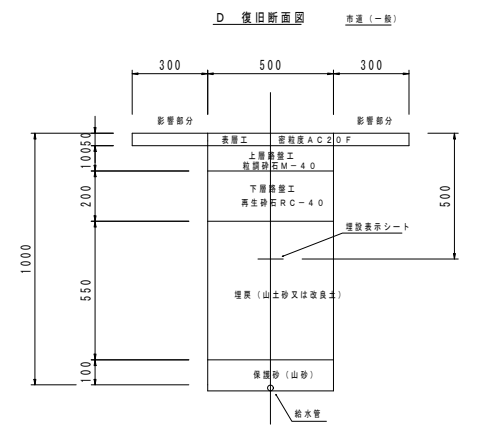
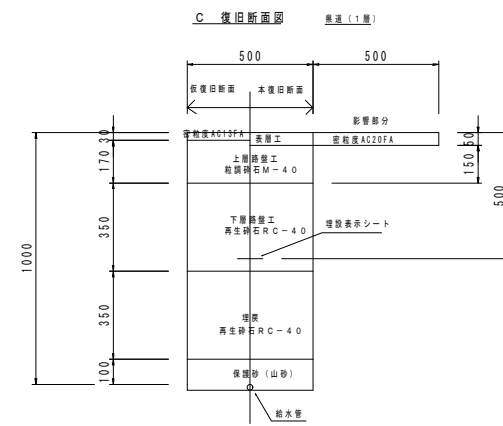
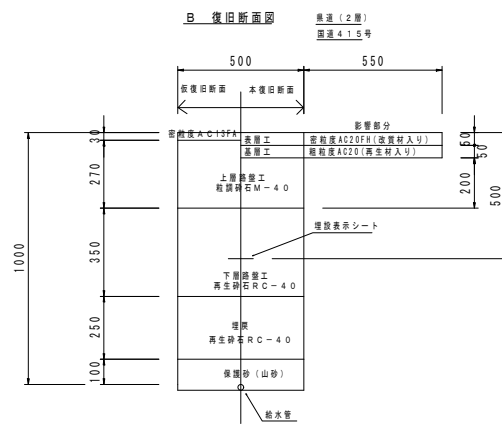
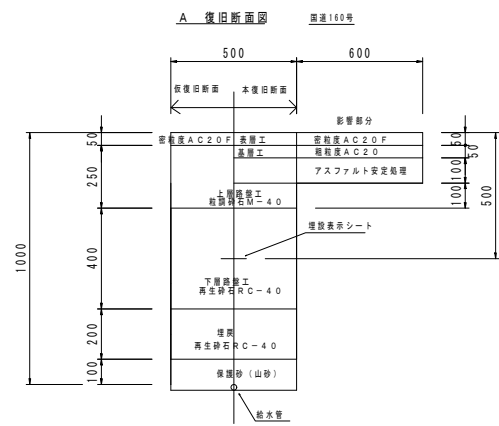


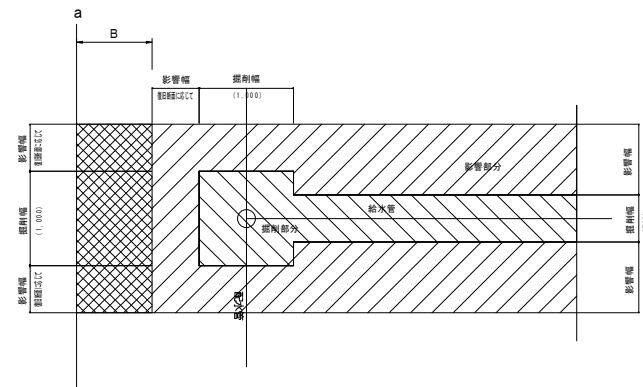
道路復旧断面の路盤厚、舗装本復旧の影響幅については、道路により異なるため  
 下記復旧断面を参考にしてください。（詳しくは道路管理者へ問い合わせてください。）



舗装復旧標準図

a 舗装の絶縁線（舗装端や目地、道路構造物等）

B 影響幅をとったあと、舗装の絶縁線までの幅が1.2mに満たない場合はその部分も影響幅に含め舗装すること。（1.2m以上の場合は無）



影響幅については、各復旧断面の寸法が標準であり  
 工事により舗装の割れなどが生じた場合はその部分  
 も影響幅に加え復旧すること。

国道及び県道は仮復旧後、1ヶ月以上の自然転圧を行った後  
 本復旧を行う。冬季間（12月～3月）は本復旧は行えない。  
 道路管理者の指示に従うこと。

市道、歩道については仮復旧は行わず即日本復旧すること。  
 本復旧の舗装切筋は掘削時点では行わず、路盤まで埋戻し  
 を行った後に切筋すること。

合材が施工日に入手できないときは、路盤で開放せずレミ  
 ファルトなどを施工し、路盤材の飛散を防止すること。